



## 株式会社浅沼組 名古屋支店

名古屋市中村区名駅南3丁目3-44

竣工／2021年9月

延床面積／2,779.64㎡

構造／鉄骨造 地下1階・地上8階建て

木材使用量／40.78㎡

木材使用によるCO<sub>2</sub>固定量／28,546kg

樹種／スギ（吉野杉）・ヒノキ

施主／浅沼組

設計者／川島範久建築設計事務所、浅沼組一級建築士事務所

施工者／浅沼組

2022年度グッドデザイン賞



写真撮影（3点）：鈴木淳平

### 人にも地球にも豊かな循環をつくるオフィス

浅沼組の環境配慮型リニューアル事業「ReQuality」は、人の暮らしから地球環境まで、幅広く環境を考える取り組みである。その第1号として、築30年の名古屋支店の改修が行われた。

土や木といった自然素材や植栽を多用することで、創造力を刺激する空間を目指している。樹齢130年の吉野杉をそのまま使用した柱と植栽によって、自然を感じることのできる外観となっている。



あいちの木材利用施設事例集





## 松栄第1学童保育クラブ

名古屋市昭和区戸田町2-27

竣工／2021年3月  
延床面積／137.65㎡  
構造／木造2階建て  
木材使用量／51.46㎡  
うち あいち認証材／48㎡  
樹種／スギ、ヒノキ  
施主／一般社団法人 まつの実  
設計／東海林建築設計事務所  
施工／株式会社安井工務店

2020年度木の香る都市づくり事業活用施設

木の香る都市づくり事業

### 子供達のがびのび過ごせる木造学童施設

心地よい木の温もりの中で、子ども達のがびのび過ごせる落とし板壁構法の学童施設。

老朽化が進んだプレハブ施設の建て替えを行い、愛知県産木材を使用して子ども達が快適に過ごせる施設となっている。

木の香る都市づくり事業を活用して木造化と備品の導入をしたほか、テラスなどは保護者が手作りで制作をした。





木の香る都市づくり事業

## 西垣林業 会議室

名古屋市瑞穂区桃園町3-23

竣工／2021年3月

延床面積／826.21㎡

構造／鉄筋コンクリート造2階建て

内装木質化面積／85.26㎡

木材使用量／6.27㎡

うち あいち認証材／6.11㎡

樹種／スギ、ヒノキ

施主／西垣林業株式会社

設計／住生活環境研究所 福田設計

施工／株式会社宮工務店

2020年度木の香る都市づくり事業活用施設

### 木の香りが広がる明るい会議空間

老朽化した会議室が、木の香りが溢れる木質空間へと生まれ変わった。

オフィスやテナントへの展開を見据え、解体工事を極力伴わずに木質化可能な施工を行い、天井のルーバーは桧と杉の使い分けによって材色の違いを活かしたデザインとなっている。

壁のルーバーは板の幅を変化させて「木の年輪」を表現したデザインとなっており、このデザインは同じ区内にある名古屋女子大学家政学部生活環境学科が協力をした。壁面の色漆喰塗りも、学生たちがワークショップの中で体験しながら進められた。





ちやがさか

## アネシス茶屋ヶ坂

名古屋市千種区赤坂町1丁目29-2

竣工／2020年7月  
延床面積／3,214.18㎡  
構造／木造、鉄筋コンクリート造 地下1階・  
地上4階建て  
木材使用量／約220㎡  
うち 国産材／約220㎡  
施主・設計・施工／清水建設株式会社

第28回愛知まちなみ建築賞  
2021年度グッドデザイン賞  
令和3年度木材利用優良施設コンクール 木材  
利用推進中央協議会会長賞  
ウッドデザイン賞2021

### 木の温もりが感じられる木質集合住宅

木材と鉄筋コンクリートの特性を活かした木質ハイブリッド構造の集合住宅。

木材の柱には耐火のための燃え止まり層を持たせたほか、CLTなど約220㎡の木材を使い、「木質の居住空間」を創出している。

国産材を多用することで、森林資源の循環、持続可能な社会の実現に向けた先導事例となることを目指して建築された。





木の香る都市づくり事業

## OMYAGE NAGOYA (オミヤーゲ名古屋)

名古屋市中村区竹橋町4-3

竣工/2020年10月

延床面積/59㎡

構造/軽量鉄骨造3階建て

内装木質化面積/32㎡

木材使用量/7.26㎡

うち あいち認証材/7.2㎡

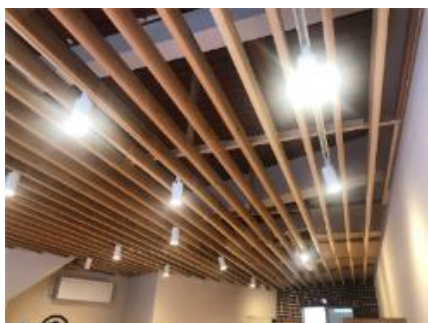
樹種/スギ、ヒノキ

施主/特定非営利活動法人オレンジの会

設計/デザインスタジオBouillon (ブイヨン)

施工/誠和建設株式会社

2020年度木の香る都市づくり事業活用施設



### あいち認証材を使用した落ち着いた 雰囲気の店内

愛知や名古屋エリアの土産・民芸・郷土品をコンセプトにしたさまざまな作家による作品と、自社デザイン・製造のオリジナル商品を取り扱う土産物店。

愛知や名古屋エリアにゆかりのある作品や商品を取り扱う店舗のコンセプトに合わせて、あいち認証材を内装に使用した落ち着いた雰囲気の店内となっている。



あいちの木材利用施設事例集





医療法人 豊隆会  
**ちくさ病院**



木の香る都市づくり事業

## 医療法人豊隆会 ちくさ病院

名古屋市千種区今池南4番1号

〔木製備品導入事例〕

竣工／2020年3月

延床面積／3,636.56㎡

構造／鉄骨造 7階建て

木製備品製造者／飛騨産業株式会社

木材使用量／14.24㎡

うち あいち認証材／14.08㎡

施主／医療法人豊隆会

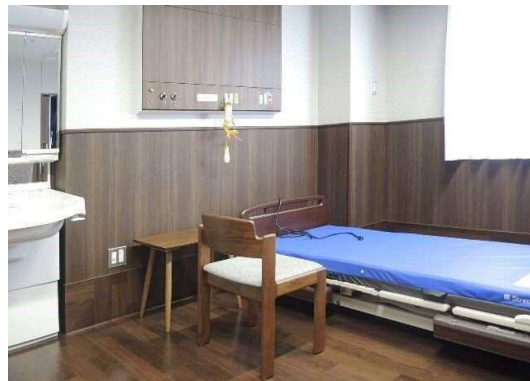
第19年度木の香る都市づくり事業活用施設

### あいち認証材を使用した木製備品の導入

本院は、半世紀以上に渡り、二次救急指定病院として名古屋市内で中核を担ってきた。

病院の新築に伴い、患者や家族の方が利用する食堂や相談室等に、あいち認証材の椅子やテーブルを設置し、地元の木材に囲まれた癒しの空間を提供している。

木製備品に使用したスギ材は、圧縮技術により強度を高め、不特定多数の方が使用する場所でも耐えうる仕様となっている。



あいちの木材利用施設事例集





# アサヒファシリティズ 山門町住宅

名古屋市千種区山門町1-6

竣工／2019年2月  
延床面積／474㎡  
構造／木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造 地上3階建て  
木材使用量／150㎡（国産材）  
樹種／スギ  
施主／株式会社アサヒファシリティズ  
設計・施工／株式会社竹中工務店  
ウッドデザイン賞2019

## 住宅街に建つCLTを使用した社員寮

住居部分の壁・床は、国産のスギ材を使ったCLTパネル工法とし、構造体であるCLTパネルを内装の壁・天井にそのまま見える形で使用している。

CLTの木質を活かした内装により、快適な住環境を実現している。





## テラスポ鶴舞

名古屋市昭和区鶴舞1丁目1-156

竣工／2018年3月  
延床面積／719.43㎡  
構造／鉄骨造 平屋建て  
木材使用量／35.33㎡  
施主／公益財団法人愛知県サッカー協会  
設計／プライム建築都市研究所  
施工／貝沼建設株式会社  
2018年度グッドデザイン賞  
ウッドデザイン賞2018受賞

### 東屋をイメージして建てられた スポーツコミュニティセンター

両側にグラウンドが隣接する運動施設内にあり、雨や日射を遮り機能的な空間で、自然と人が集まってコミュニケーションが生まれる場となっている。

パーゴラのような鉄骨フレームに LVL の梁をかける構成をとっており、将来的な組み換えが容易なシステムを目指している。





あいち木づかい表彰受賞



## パンとみんなとしげんカフェ ゾーンネおおぞね

名古屋市北区山田2丁目11-62  
大曽根住宅1棟1F

竣工／2018年2月  
延床面積／812.13㎡  
構造／鉄筋コンクリート造（大曽根住宅1階）  
内装木質化面積／292.33㎡  
木材使用量／13.35㎡  
うち あいち認証材／7.61㎡  
施主／社会福祉法人 共生福祉会  
運営／わっぱの会  
設計／LLC住まい・まちづくりデザインワークス  
施工／アイシン開発株式会社

平成30年度愛知まちなみ建築賞受賞  
第4回あいち木づかい表彰 特別賞 受賞

## 豊根村産木材を利用した交流拠点施設

名古屋市北区の築45年を経過した大曽根団地の1階にある複合施設。カフェやアンテナショップ、イベントスペース、生活相談窓口、資源買取センターが入っている。

高齢化と空き家化が進む昭和50年築の団地において、子どもからお年寄りまでの住まいや交流、生きがい生まれることを願って建築された交流拠点施設である。内装木材は主に豊根村産材を使用し、テーブルは名古屋市の街路樹をリサイクルしている。製作は長坂木材（名古屋市東区）。





## 阿部建設株式会社 手しごとの家

名古屋市守山区今尻町1803

竣工／2015年4月

延床面積／161.89㎡

構造／木造在来軸組工法 2階建て

木材使用量／37.8㎡

うち CLT使用量／11.8㎡

施主・施工／阿部建設株式会社

設計／有限会社泉幸甫建築研究所

### CLTを利用しながら、本物の自然素材にこだわったモデルハウス

木のほかに、土壁、和紙、タイルなど、本物の自然素材をふんだんに使用した、高性能のゼロエネルギー住宅。2階床、外壁耐力壁、野地板（2階天井）にCLT\*（Aパネ工法）を利用。

TRCダンパーと構造用面材としてCLT\*を利用した、最新技術による高い耐震性を備えている。

\*CLTサイズ：12mm×3層（36mm厚）1m×3m  
（製造：山佐木材株式会社）





まるみ

# 丸美産業株式会社 本社社屋

名古屋市瑞穂区瑞穂通3丁目21

竣工／2008年7月

延床面積／3,243.99㎡

構造／鉄骨鉄筋コンクリート造 5階建て（一部鉄骨造：ハイブリッド集成材）

施主／丸美産業株式会社

設計／株式会社高松伸建築設計事務所

施工／鹿島建設株式会社中部支部・名工建設株式会社

「木質ハイブリッド構造材」を主要構造にした、地上5階建て社屋

“木”の特性（風格、風情、風合い、温もり、肌ざわり、懐かしさ、癒しなど）を現代建築における建築技術の粋を集めて具現化した建築。カラマツの集成材の中にH型钢を内蔵した、1時間耐火部材である「木質ハイブリッド集成材」を使用している。「木質ハイブリッド」の柱を外部に見せることで、これまで例を見ない外観となっている。



社屋外観



2階オフィス





## ツインアーチ138 展望階

一宮市光明寺字浦崎21-3

竣工／2021年3月

延床面積／1385.41㎡

(うち 改修対象の展望階床面積 389.56㎡)

構造／鉄骨造

内装木質化面積／

壁面木製リブ造作 73㎡ フローリング貼88.2㎡

木材使用量／3.46㎡

施主／一宮市

設計／一宮市まちづくり部公共建築課

施工／有限会社全日工務店



展望室（壁面木製リブ造作）

### 木の温もりを感じる展望ルーム

開館後20年以上が経過し、施設リフレッシュのため展望階内装を木質化改修した。

展望室は壁面に木製リブ造作を取付け、展望窓下のカウンターを鋼製から木製に改修した。また、ビュッフェコーナーの床をビニル床タイルからフローリングに改修し、家具も木製に更新した。

来館者の視覚に入りやすい部分を集中的に改修することでコストを抑えつつ、木の温もりを感じられる施設へと改修した。



ビュッフェコーナー（フローリング化及び家具更新）





あいち木づかい表彰受賞

次世代林業基盤づくり事業

## 瀬戸市立にじの丘学園

瀬戸市中山町1番地の57

構造／鉄筋コンクリート造地下1階地上2階建て

延床面積／15,701㎡

竣工／2020年2月

内装木質化面積／10,572㎡

(床：9,003㎡、腰壁：1,569㎡)

木材使用量／212㎡

(うちあいち認証材 171㎡)

施主／瀬戸市

設計／株式会社久米設計 名古屋支社

施工／株式会社鴻池組 名古屋支店

第5回あいち木づかい表彰 優秀賞

第54回中部建築賞

2019年度次世代林業基盤づくり事業活用施設

### 愛知県産木材を多用した温もりのある空間

児童生徒の減少が著しい瀬戸市中心市街地の小学校5校と中学校2校を統合した小中一貫校。

太陽光発電や太陽熱温水利用など、自然エネルギーを利用し敷地周辺の自然環境に調和した環境に優しい施設。

教室や廊下、階段などの床にヒノキ、壁にスギを使用するなど、愛知県産木材を積極的に活用し、癒しや温もりの感じられる空間とすることにより、子どもたちの教育環境の向上に活かしている。





## 瀬戸市立にじの丘学園内 にじの丘ライブラリー

瀬戸市中山町1番地の57

構造／鉄筋コンクリート造地下1階地上2階建て（うち1階図書館）

延床面積／372㎡（図書館）

竣工／2020年2月

木材使用量／6.26㎡

（うち あいち認証材5.33㎡）

施主／瀬戸市

納品／有限会社富田文溪堂

製造／帝国器材株式会社

2019年度木の香る都市づくり事業活用施設

木の香る都市づくり事業

### 学校と地域をつなぐ木の図書空間

市内小中学校の再編に伴い整備された図書館「にじの丘ライブラリー」は、平日は児童生徒の学習支援、休日は地域住民の図書館として利用され、多目的に活用されている。

教室や廊下に加え、図書館内の本棚やテーブルにも愛知県産のヒノキやスギを使用し、木の温もりを感じられる空間としている。





## グリーンパレス春日井

春日井市東野町字落合池1-2

構造／鉄筋コンクリート造一部鉄骨造7階建て

延床面積／7744.679㎡

竣工／2022年1月

木材使用量／32.156㎡

(うち あいち認証材 5.548㎡)

施主／春日井市

設計／株式会社黒川建築事務所

施工／高柳・服部特定建設工事共同企業体



### 生まれ変わった多世代交流の場

市民交流の場の提供と事業活動を支援するための施設として、より快適で利用しやすい施設に整備するとともに、研修棟2階に子ども屋内遊び場を設けている。

随所に木材を使うことで、木の温もりを感じられる造りとなっている。





## プロリサーチセンター

春日井市鳥居松町2-294

構造／木造、鉄筋コンクリート造

延床面積／626.5㎡

竣工／2010年6月

施主／株式会社ジーシーデンタルプロダクツ

設計／隈研吾建築都市設計事務所

施工／松井建設株式会社

### 安らぎと新しいエネルギーを創出する空間

春日井市におけるジーシーデンタルプロダクツの歯科材料製造活動が50周年を迎えたことを記念して竣工された建物。

木製立体格子につつまれた開放感ある建物は、使用者だけでなく地域コミュニティの場として開かれた研究施設となっている。





森林整備加速化・林業再生事業

## 特別養護老人ホーム

しあわせ さと

## 幸の郷

小牧市大字北外山字掛割8番地

構造／木造耐火2階建て

延床面積／624.49㎡

竣工／2016年6月

木材使用量／181.67㎡

(うち あいち認証材144.61㎡)

使用樹種／スギ、ヒノキ

施主／社会福祉法人元気寿会

設計／有限会社大久手計画工房

施工／山旺建設株式会社

2015年度森林整備加速化・林業再生事業活用施設



## 温もりある木造でつくる安心の介護環境

10人単位のユニットを3つの棟に分け、さらにデイサービスと地域交流スペースを備えた中央棟を加えた全4棟構成となっている。各棟には独立した玄関が設けられ、地域と直接繋がりが持てる造りとなっている。

「家庭的な環境づくり」を重視し、木造建築にこだわった温かみのある空間を実現した。愛知県産のスギやヒノキの香りや自然な空気の流れを感じられるよう工夫され、利用者が落ち着いて過ごせる優しい環境となっている。



あいちの木材利用施設事例集





## 特別養護老人ホーム 平安の里

清須市春日新町95番地

構造／鉄筋コンクリート造5階建て

延床面積／6,076.72㎡

竣工／2012年3月

木質内装面積／2,059㎡

(床：1,522㎡ (50%圧縮スギ)、腰壁537㎡ (35%圧縮スギ))

施主／社会福祉法人西春日井福祉会

設計／株式会社伯楽舎

施工／TSUCHIYA株式会社

### 自然のテーマが彩る木質空間の高齢者施設

安心して過ごせる環境づくりを重視した施設として整備され、各フロアに「花」「鳥」「風」「月」のテーマを設け、地域にゆかりのある木や花の名称を採用することで、利用者に親しみやすい空間となっている。

また、共同生活室やデイルームには圧縮スギ材を使用した床や腰壁を設え、木の温もりを感じられる環境を実現している。





## 上郷複合施設 西棟 (上郷保育園)

長久手市前熊前山173-2

構造／木造一部コンクリート造2階建て

延床面積／2,075㎡

竣工／2020年9月

木材使用量／167㎡（構造のみ）

使用樹種／スギ、ヒノキ、サクラ

施主／長久手市

設計／樽建築設計室有限会社

施工／株式会社前田工務店

### 愛知県産材を活かした温かな保育環境

旧上郷保育園（昭和49年整備）から移転し新築された保育園で、建物には国産のスギ・ヒノキを構造体を使用するとともに、一部に愛知県産材を使用し、集成材を使わない構造としている。

また、内装にはスギ板の腰壁を貼り、桜材の床材に使用している。床の一部を重ね貼りとして、小断面の一般流通材を活用することで、建設コストの低減にも配慮した設計となっている。





## デイサービス・地域交流センター あしすと

愛知郡東郷町和合牛廻間105

構造／木造2階建て  
延床面積／375.97㎡  
竣工／2014年3月  
木材使用量／126㎡

(うち あいち認証材31.38㎡)

施主／有限会社アシスト  
設計／株式会社空建築事務所  
施工／有限会社丸中製材所

2013年度森林整備加速化・林業再生事業活用施設

森林整備加速化・林業再生事業

### 自然に寄り添う木造多世代交流拠点

デイサービス・地域交流センター「あしすと」は、デイサービスや有料老人ホーム、保育所、喫茶店の複数の機能を備えた地域交流施設として整備された。

約1,500坪の敷地に立地し、和合ゴルフ場の自然を望む環境を活かしながら、地域活性化を目的とした木造多世代交流コミュニティ施設となっている。





## 大口町立北保育園

丹羽郡大口町中小口2丁目619

構造／在来軸組工法 一部鉄筋コンクリート造  
平屋建て

延床面積／2,148.12㎡

竣工／2017年8月

木材使用量／549.81㎡

(うち あいち認証材 205.03㎡)

施主／大口町

設計／株式会社齊木建築事務所

施工／内藤・松岡・酒井特定建設工事共同企業体

2015・2016年度森林整備加速化・林業再生事業  
活用施設

第3回あいち木づかい表彰 最優秀賞

あいち木づかい表彰受賞

森林整備加速化・林業再生事業

### 開放感ある木造園舎

戸から床まですべてを木造とし、安らぎと癒しを与えるような開放感のある保育園。

回廊で囲まれた園庭をもち、三州瓦を使用し武家屋敷をイメージしている。

耐火建築物（鉄筋コンクリート造）を木造平屋約500㎡ごとに配置することで、大型木造建築物とすることを実現した。

すべての室と回廊の腰板には、豊根村産のスギが使用している。





## 大口町立西保育園

丹羽郡大口町余野5丁目196

構造／在来軸組工法 平屋建て  
(既存園舎：鉄筋コンクリート造)  
延床面積／935.67㎡  
竣工／2020年4月  
木材使用量／228.68㎡  
(うち あいち認証材183.97 ㎡)

施主／大口町  
設計／株式会社齊木建築事務所  
施工／松岡建設株式会社

2019年度次世代林業基盤づくり事業活用施設

次世代林業基盤づくり事業

### 「協働のまちづくりの精神」を具現化した取組

大口町立北保育園（2017年竣工）に続く、木の温もりや優しさを体感できる保育園。

市場で材料を調達する従来の木造ではなく、町内の企業が所有する里山の立木（間伐材）の提供を受け、材料調達において「協働のまちづくりの精神」を具現化した。保育室や調理室だけでなく既存施設との融合を図りながら、園庭へ繋がる幅3mの回廊を設けている。

内装材は豊根村産スギを使用し、構造部材の仕入れと加工（集成材）は片桐銘木工業株式会社が行った。





## NPO法人きらきら蛙 就労継続支援B型 Beレンジャー

あま市七宝町桂宮前8

構造／木造平屋建て

延床面積／125.87㎡

竣工／2021年7月

内装木質化面積／311.9㎡

(うち あいち認証材 134.5㎡)

木材使用量／38.51㎡

(うち あいち認証材 28.01㎡)

使用樹種／スギ、ヒノキ

施主／特定非営利活動法人きらきら蛙

設計・施工／エイトデザイン株式会社

2020年度木の香る都市づくり事業活用施設



木の香る都市づくり事業



### どこか懐かしさを感じる福祉施設

地域に開かれた喫茶店を付属する福祉施設。木造平屋建てとし、スギ・ヒノキ等を活用した木のしつらえを特徴としている。

象徴的な意匠や使い古された木材の採用により、利用者と地域に親しみやすい空間となっている。





木の香る都市づくり事業

## BストロAmaゴリラ

※ 営業終了

あま市七宝町遠島十三割2000  
(あま市七宝焼きアートビレッジ内)

構造／鉄骨造平屋建て

延床面積／251㎡

納品／2021年3月

木製備品導入／スツール・テーブル

(製造：飛騨産業株式会社)

木材使用量／1.116㎡

(うち あいち認証材 1.082㎡)

使用樹種／スギ

施主／特定非営利活動法人くらし応援ネットワーク

2020年度木の香る都市づくり事業活用施設

### 地域拠点に寄り添う木製備品カフェ

BストロAmaゴリラは、七宝焼きアートビレッジに隣接し、特定非営利活動法人が運営するカフェとして整備された。

あいち認証材を使用したスツールとテーブルは、スギ材を木工技術で手加工によって仕上げ、カフェ利用者が視覚的・感覚的に愛知県産木材を楽しめるように施されている。また、テーブル天板に木の年輪を表面に出すことで、愛知県で育った木の歴史も楽しめるよう工夫を施している。





# 幼保連携型認定こども園 大治幼稚園

海部郡大治町大字西條字土井ノ池35  
番地2

構造／鉄筋コンクリート2階建て（改修）  
延床面積／1,119.26㎡  
竣工／2016年2月  
内装木質化面積／約370㎡  
木材使用量／6.02㎡  
（うち あいち認証材 3.34㎡）

施主／学校法人山崎学園  
設計／加賀建築設計室  
施工／株式会社ジャクエツ

2015年度森林整備加速化・林業再生事業活用  
施設



森林整備加速化・林業再生事業

## 温かみある木質空間

昭和30年創立の幼稚園として、愛知県の幼児教育の中核を担ってきた本園は、エントランス、廊下などの腰壁や巾木にあいち認証材（ヒノキ）を使用し、保育室の床にはカバ材をふんだんに使い、温かみのある内装に仕上げた。

園児たちが生活していく中で、木の心地よさ、香りを肌で感じることができる施設となっている。





## 蟹江町観光交流センター

さいと

# 祭人

蟹江町大字須成字川西上371

構造／鉄筋コンクリート造2階建て

延床面積／363.40㎡

木材使用量／1.80㎡

(うち あいち認証材 1.80㎡)

内装木質化面積／118.3㎡

施主／蟹江町

設計／株式会社黒川建築事務所

施工／大藤建設株式会社

竣工／2018年3月



## 須成祭や蟹江町の魅力を発信

2016年にユネスコ無形文化遺産に登録された「須成祭」をメインテーマとし、町の魅力を広く発信し、地域振興を目的とした飲食物や特産品を提供することで、地域の活性化と交流人口の増加を目指した観光拠点施設。

1階ホールの壁と天井は、蟹江町と交流のある設楽町産のあいち認証材であるスギを使用して内装を木質化しており、木の温かみある雰囲気を活かしたスペースとなっている。





木の香る都市づくり事業

## 日本福祉大学 半田キャンパス コミュニティセンター棟

半田市東生見町26番地2

構造／鉄筋コンクリート造 2階建て

延床面積／2,300㎡

竣工／2020年3月

内装木質化面積／36.6㎡

(ミーティングルーム)

木材使用量／1.88㎡ (あいち認証材〈木質内装 1.71㎡、木製備品 0.17㎡〉)

施主／日本福祉大学

施工／西垣林業株式会社

設計／日本福祉大学建築バリアフリー専修 坂口大史 + 坂口研究室

2019年度木の香る都市づくり事業活用施設



## 日本福祉大学半田キャンパス内にある、 学生や地域住民等の交流施設

大学キャンパス全体や他大学での普及を視野に木質化モデルを作る事を目的として、大学構内の交流施設の一部屋を実験的に木質化した。

福祉工学科の研究テーマとして、交流施設の一部木質化による心理的・身体的な効果を調査し、県民に向けて発信する。





木の香る都市づくり事業

## ロクノゴジュウナナ

常滑市大野町6丁目57番地

構造／木造2階建て

延床面積／163.9㎡

竣工／2021年3月

内装木質化面積／75.37㎡

木材使用量／5.8㎡

(うち あいち認証材 5.62㎡)

樹種／スギ、ヒノキ

施主／特定非営利活動法人任

設計・施工／株式会社戸田工務店

2020年度木の香る都市づくり事業活用施設



### 嘉永2年(1849年)に建築された古民家を 改修・再生したシェアリングスペース

ロクノゴジュウナナは、「ひとのうごき」「ひとのかかわり」「ひとびとのおもい」を生み出すことを運営ミッションとしている。

施設内は、柱や床板、机やイスにもあいち認証材を使用し、表面の仕上げを工夫するなどして、五感で木の良さを実感できる空間にしている。古民家や伝統工法、自然素材などに関心のある層にも、親しみをもって利用してもらえるよう工夫している。

また、施設では、イベントを企画し、木材そのものや、木材を活用した住宅改修、空き家の活用、木材の産地や林業など、利用者が木を起点に関心を多面的に広げられるよう運営している。





## 知多南部斎場

南知多町大字内海字榎木77番地の14

構造／鉄筋コンクリート造1階建て（一部鉄骨造）

延床面積／1,274.45㎡

竣工／2022年3月

木材使用量／317㎡（軒天）

供用開始／2022年4月

施主／知多南部衛生組合

設計／株式会社石本建築事務所

施工／名工・伊藤・石橋 特定建設工事共同事業体

### 木の温もりの中、故人を見送る施設

あいち認証材（天然木）を車寄せの天井材として使用し、温もりのある空間を演出している。





とよとみ

## 岡崎市豊富保育園

岡崎市榎山町字西原98-2

構造／木造平屋建て 延床面積／1,642.42㎡

竣工／2021年8月

木材使用量／258㎡

(うちあいち認証材244㎡)

施主／岡崎市

設計／株式会社浦野設計

施工／小原・大黒屋特定建設工事共同企業体

ウッドデザイン賞2022

令和4年度木材利用優良施設等コンクール優秀賞



### 地元岡崎産の木材を活用した園舎

岡崎市豊富保育園は、柱や梁などの構造材が目に触れるようにしているほか、仕上材にも多くの木材を使用することで、木の温もりに触れられる園舎となっている。

その中でも、エントランスに向かうと真っ先に目に入る中央の柱は、丸太を組み合わせたシンボルツリーとなっており、地元岡崎産の木材を活用した本園を象徴的に表している。



あいちの木材利用施設事例集



## 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 子ども好適空間エリア

岡崎市中町1-8-4

構造／鉄筋コンクリート造3階建て  
延床面積／4,327㎡  
木製備品導入／2021年3月、木製遊具一式  
(6号館1階および屋外に設置)  
木材使用量／4.71㎡(全て、あいち認証材)  
使用樹種／スギ、ヒノキ  
施主／学校法人清光学園  
木製備品製造／杉林建設株式会社

2020年度木の香る都市づくり事業活用施設



### hyggeおはなしの森

大木をかたどったメインオブジェが印象的。多くの絵本や紙芝居が備わっており、子どもたちは夢中になって本を見ることができる。

### 学びと遊びを結ぶ木の遊具空間

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の子どもの好適空間エリアは、これまでの研究で培った「子どもが安全で居心地よく過ごせる環境」を具現化する場としてオープンした。

6号館1階を中心に、屋内外を回遊できる木製遊具や、絵本を楽しめる大木型オブジェを設置し、スギ・ヒノキの愛知県産木材を活用した温かみのある空間となっている。



### hyggeあそびの箱

屋内と屋外を結ぶ回遊式木製遊具。窓を越えて屋外に出ることが可能。  
ウッドデッキを敷設し、子どもたちのワクワク感を引き出す仕掛けとなっている。



屋内と屋外を結ぶすべり台とウッドデッキ







木の香る都市づくり事業

れんじやく

## みんなのおうち連尺

岡崎市連尺通3-4

構造／鉄筋コンクリート造

5階建てのうち2階部分

延床面積／87.50㎡

竣工／2020年3月

木材使用量／5.19㎡（全て あいち認証材）

施主／株式会社志賀トラスト

設計／榊原節子建築研究所

施工／小原木材株式会社

2019年度木の香る都市づくり事業活用施設

### 地域に根ざした新しい託児室

子供達と「共に暮らし、共に育む」をテーマに子供達、親、地域住民、施設スタッフが、身体に優しく健やかに過ごせる空間を設けた。

地元岡崎市産のヒノキや木の温もりを感じる無垢材を使用することにより、利用者が木材・林業に係る地元の取組みも知るきっかけを創り出している。





## 岡崎市額田センター こもれびかん

岡崎市榎山町字山ノ神21-1

構造／市民交流棟：鉄筋コンクリート造一部  
木造平屋建て、行政棟：鉄筋コンクリート造  
2階建て

延床面積／1975.77㎡

竣工／2017年12月

木材使用量／189.71㎡

(うち 岡崎市産材 148.12㎡)

施主／岡崎市 設計／株式会社青島設計

施工／小原・丸ヨ特定建設工事共同企業体

第2回あいち木づかい表彰最優秀賞

### 行政関係の機能と市民交流・社会教育機能、 地域防災拠点機能を併せ持った施設

岡崎市産の木材を使用した建築物とするため、ヒノキの150角を活用し、4本の角材を組み合わせて一つの柱とする組柱や、3～4本の角材を合わせて梁とする束ね梁を採用している。梁のスパンは最大約12mを実現しており、たわみ防止のため梁架構には鋼材が組み込まれている。

準耐火建築物（45分）であり、木造部は燃え代設計が45mmとなっている。建具や天井、壁、図書館の書架などにも岡崎市産木材のヒノキが使われており、支所棟の壁材（ヒノキ小幅板）は不燃注入処理により不燃化している。





# 株式会社小幡建設 すまい館

岡崎市岩津町字新城121番地1

構造／鉄骨造

延床面積／600㎡

木材使用量／ヒノキ 9.346㎡

(うち あいち認証材 2.0844㎡)

施主／株式会社小幡建設

設計／小幡庄司

施工／株式会社小幡建設

竣工／2016年3月

## 来客者の印象に残る本社施設

株式会社小幡建設本社施設のすまい館は、節がある住宅用間柱を内装材として使用し、節がアクセントとなってデザイン性の高い空間となっている。

エントランスホールの壁の一部を曲面とし、縦格子が目に入りやすく、節の部分の精油分による木の香りも強く、来客者に木材を強く印象付ける工夫がされている。





どうどう

## 岡崎市立百々保育園

岡崎市河原町15-1

構造／鉄筋コンクリート造一部木造

延床面積／1,633.28㎡

竣工／2015年11月

木材使用量／119.39㎡

(うち 岡崎市産材 46.28㎡)

施主／岡崎市

設計／株式会社浦野設計

施工／太田・矢田特定建設工事共同企業体



### 適材適所のハイブリッド園舎

岡崎市立百々保育園は、鉄筋コンクリート造と木造を組み合わせた、適材適所のハイブリッド構造で整備された。

従来の鉄筋コンクリート造の園舎と比較して、耐久性や耐火性、耐震性、居住性、維持管理、建設コストといった項目において同等の範囲内で木造化を図った。

床や腰壁などに積極的に木材を使用することで、園児が木の温もりを感じられる空間づくりを行った。





# 岡崎市立六ツ美中学校 柔剣道場

岡崎市下青野町字井戸尻72番地

構造／鉄筋コンクリート造一部木造

延床面積／827.16㎡

竣工／2015年9月

木材使用量／134.19㎡

(うち 岡崎市産材100.81㎡)

施主／岡崎市

設計／有限会社千里建築設計事務所

施工／サンモク・小原木材特定建設工事共同

企業体



## 地域材を活用した温かな武道空間

本柔剣道場は、梁を木造とし、内装を木質化することで、温かみのある武道空間を形成した。

岡崎市産木材を積極的に使用することで、地域産業への貢献と森林資源の保護に寄与しており、建物を通じて地産地消や環境保護について学べる場ともなっている。





森林整備加速化・林業再生事業

## 岡崎市宮崎学区市民 ホール

岡崎市宮崎町字亀穴33番地

構造／鉄筋コンクリート造平屋建て

延床面積／251.2㎡

竣工／2014年3月

木材使用量／4.05㎡（あいち認証材）

施主／岡崎市

設計／株式会社中京建築総合設計

施工／丸ヨ建設工業株式会社

2013年度森林整備加速化・林業再生事業活用  
施設



### 地域材が彩る学区の集会拠点

岡崎市宮崎学区市民ホールは、林業が盛んな地域性を活かし、地元産の木材を内装に取り入れている。温かみのある快適な公共空間を提供するとともに、木材の良さの普及啓発等を図っている。





## 特別養護老人ホーム パレット

刈谷市東境町大池27-1

構造／鉄骨造4階建て  
延床面積／5,475㎡  
木材使用量／6.832㎡  
(うち あいち認証材 6.634㎡)

樹種／スギ、ヒノキ  
施主／社会福祉法人巡音会  
木製備品製造／飛騨産業株式会社  
納品／2021年2月

2020年度木の香る都市づくり事業活用施設

木の香る都市づくり事業



### 愛知県産木材を活かした木製家具の導入

子供から高齢者まで幅広い世代の地域住民の訪れる地域交流室に、木製家具を導入した。

愛知県産のスギ・ヒノキ圧縮材を使用したチェアや、テーブル、ソファ等の家具を設置することで、木の温もりを感じられる、来訪者がくつろげる空間となっている。





## ほうろく屋

西尾市西浅井町古城17番地

構造／木造平屋建て（乾燥スペース）、木造2階建て（倉庫・加工場）

延床面積／84.74㎡（乾燥スペース）、122.13㎡（倉庫・加工場）

木材使用量／24.63㎡（あいち認証材）

樹種／スギ、ヒノキ

施主／株式会社ほうろく屋

設計／小原木材一級建築士事務所

施工／小原木材株式会社

竣工／2021年1月



### 県国産菜種の魅力を伝える作業施設

国産菜種100%原料の菜種油を製造するための乾燥スペースと倉庫・加工場。

手間暇をかけて製造する菜種油の魅力と作り手の思いを消費者に繋げているのと同様に、地域産材にこだわった作業スペースの建築が特徴となっている。また、月1回のペースで工房見学を開催している。





にのまるうしとらやぐら

## 西尾城 二之丸丑寅櫓

西尾市錦城町231-1

構造／木造 2階建て

延床面積／81.36㎡

木材使用量／57.6㎡

樹種／スギ、ヒノキ

施主／西尾市

設計／株式会社フジヤマー級建築士事務所

施工／山旺建設株式会社

竣工／2020年7月

### 史実に基づく木造復元櫓

西尾城 二之丸丑寅櫓は、西尾市歴史公園内に整備された史実に基づく復元を目指し、全て木造で復元した。

伝統工法にみえるように部材結合部や見付納まりを慎重に検討し構造寸法と仕上げ寸法の調整をした。

内部へ入ることはできないものの、入口から往時の様子を覗くことができ、あいち認証材のスギ・ヒノキを使用して、往時の様子を窺い知ることのできる建築物となっている。





## 多世代交流施設 豊坂ほっと館

額田郡幸田町大字六栗字西山2-619

構造／木造2階建て

延床面積／550.05㎡

内装木質化面積／550.05㎡

竣工／2018年3月

木材使用量／85.4㎡

(うち あいち認証材 83.7㎡)

施主／幸田町

設計／株式会社阿波設計事務所 名古屋支店・

名古屋大学大学院 太幡研究室

施工／佐々木建設株式会社

第3回あいち木づかい表彰 優秀賞

あいち木づかい表彰受賞

### 多世代が集えるコミュニティ施設

子どもたちが木に触れ合うことで、木の温かみや安心感を感じることができるよう、床・壁・天井には杉板の無垢材を採用し、木に包まれた空間となるよう配慮した。

全ての柱と梁、及び床・壁・天井・外壁に愛知県産スギ（無垢）を使用。外壁・軒天井には岐阜県産ヒノキ（無垢）を使用。

光や風の環境分析と児童館特有の行動分析をもとに、建物中央に10枚の耐震壁を設置。耐震壁に幸田町を象徴する色で配色することで地域の自然や歴史を感じ、愛着の持てる空間となることを目指している。





あいち木づかい表彰受賞

## たかねこども園

豊田市和合町鳥手167

構造／木造一部鉄筋コンクリート造及び  
鉄骨造平屋建て

延床面積／2,254.26㎡

竣工／2020年3月

木材使用量／308.12㎡

(うち 愛知県産木材190.21㎡ (うち 豊田市産  
材134.55㎡))

施主／豊田市

設計・施工／太啓建設株式会社

第4回あいち木づかい表彰最優秀賞



### 木材が作り出す美しい構造が 特徴的な保育施設

園舎は、通風・採光に配慮した平屋建て。2018年度から稼働している豊田市内の中核となる製材工場から供給された地域産材や、2019年8月に園児が親子ワークショップで製作した小原和紙など地域資源を活用し、園児が親しみや愛着が持てる施設となっている。

建物中央部にはアーチ状の天井が特徴的な遊戯室や、芝生が整備された中庭が広がり、季節や天候等に応じた柔軟な保育を行うことができる。





レストラン

## 豊田スタジアム (レストラン・貴賓室)

豊田市千石町7丁目2番地

\*木製備品（机・椅子）導入  
木材使用量／14.25m<sup>3</sup>（全て、豊田市産材）  
施主／豊田市  
設計・施工／飛騨産業株式会社  
納品／2019年11月



貴賓室

### 豊田市産材を活用した備品

レストラン用テーブル（写真上）の天板には、豊田市産スギ50%加熱圧縮材を使用。チェアの背板には豊田市産スギ30%加熱圧縮曲木材、脚部には豊田市産スギ50%加熱圧縮材を使用している。

また、貴賓室のテーブル（写真左下）の天板には、豊田市産杉木口ブロックサンド材を使用しており3枚で10cm角の集成材を木口面が市松模様に現れるように集成し、断面はそり防止のため、芯材に杉の柂目材を挟み込む3層構造としている。

圧縮材を使用することで強度が上がり、長く使用することができるとともに、肌触りが良い仕上がりとなっている。



各製品に豊田市産材木材を使用していることを示す焼印





## 豊田市駅東口まちなか広場 とよしば

※ 2023年3月終了

豊田市喜多町2丁目166番地

構造／木造平屋建て（軸組工法）

延床面積／177.27㎡

木材使用量／約24㎡

施主／豊田市

設計／株式会社エイバンバ

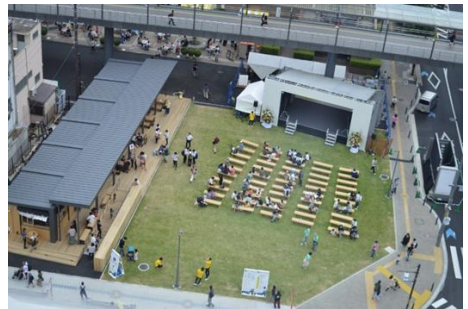
施工／株式会社白武

竣工／2019年9月

### 3年7ヶ月に及ぶ社会実験の空間

人が集い、まちのにぎわいを生み出すことを目的とした拠点施設であり、「多様な人々が集い・交わり、アイデアと愛着が生まれ・育ち、アイデアやチャレンジの受け皿となる開かれた場」として、2025年に向けた広場整備の社会実験の場として2019年9月に開設され、2023年3月に終了した。

多くの歩行者が行き交う駅前という立地から、庇の間接照明を取り入れた木材を生かすデザインとし、木材の温もりと優しさを感じながらリラックスできる開放空間を生み出している。





## 豊田市役所藤岡支所・ 藤岡交流館

豊田市藤岡飯野町田中245

構造／鉄筋コンクリート造および木造一部鉄骨造 2階建て

延床面積／2,640.57㎡

竣工／2019年3月

木材使用量／198.91㎡

(うち 豊田市産材48.04㎡)

施主／豊田市

設計／株式会社シーラカンズアンドアソシエイツ

施工／トヨタT&S建設株式会社



### 木の見せ方にこだわった複合施設

市役所支所及び交流館の合築による機能集約のほか、2階に商工会・観光協会等の行政関係機関の執務室を配置。行政サービスや生活サービスの向上を図るため、乳幼児健診に対応した所室やバスターミナルを設置した複合施設。

「木の見せ方」に重点を置き、吹き抜けを利用した樹状木柱等により木造・木質化を意識できる空間を演出。また、交流館と支所機能を明確に分離することで、分かりやすい同線計画と施設利用者が気軽に利用できる図書コーナーを館内中央に配置し求心性を高めた。





## とよた子育て総合支援センター あいあい

豊田市若宮町1丁目57-1  
(松坂屋豊田店A館9階)

構造／内装木質化  
延床面積／1,183㎡  
竣工／2018年11月  
内装木質化面積／495㎡  
木材使用量／22.6㎡  
(うちあいち認証材20.7㎡)

施主／豊田市  
設計・施工／内田洋行株式会社  
第3回あいち木づかい表彰 特別賞

あいち木づかい表彰受賞施設

### 木の魅力、自然への理解を育む「木育」の 拠点施設

木の持つ温もりや親しみやすさ、飽きのこない風合いなど、木の良さを生かした空間とすることで、子どもの五感や創造性を育み、親子と一緒に会話や食事を楽しめる明るく開放的な憩いの場。

体を動かし遊びながら、木の心地良さ、香り、触感などを肌で感じることができる施設となっている。





## 豊田市立寺部小学校・ 寺部こども園

豊田市上野町1丁目173

構造／木造一部鉄骨造・鉄筋コンクリート造2階建て

延床面積／小学校 8,554.5㎡、こども園 2,374.8㎡

木材使用量／1,395㎡  
(うち あいち認証材 728.6㎡)

施主／豊田市

設計／豊田市、株式会社青島設計

施工／太啓建設株式会社

竣工／2016年3月

### 交流を育む木造校舎

豊田市立寺部小学校・寺部こども園は、一つの敷地内に一体の建物として整備され、児童と園児が交流するスペースが設置されている。構造材には一般流通材（120mm角）を基本とし、大空間を確保するため組柱や束ね梁の工法を採用している。

豊田市で調達可能なヒノキを構造材に、スギを内外装材に使用し、燃えしる設計や耐火建築物による面積区画（1,000㎡）を行うことで、木造・木質化の最大化を図っている。





## 豊田市立前林交流館

豊田市前林町行田29

構造／木造平屋建

延床面積／1,601.1㎡

木材使用量／324㎡（うち 豊田市産材269㎡）

施主／豊田市

設計／株式会社東畑建築事務所 名古屋事務所

施工／トヨタT&S・大進建設共同企業体

竣工／2016年3月

### トラス構造の梁を採用

豊田市立前林交流館は、ホールや図書コーナー、会議室を備えた多目的交流施設として整備された建物となっている。

外観には雨にあたりにくい部分を中心に木材が使用され、内観では柱や梁が目に触れるようにすることで、木造化を分かりやすく示している。

会議室や図書コーナーにはトラス構造の梁を採用し、L字型の配置によって賑わいと静けさのゾーンを分けながら屋外広場との一体性を高めている。燃えしろ設計による準耐火建築物としての安全性も確保されている。





## すえの 豊田市立寿恵野こども園

豊田市鴛鴨町畔畑227

構造／木造2階建て延床面積／2,163.3㎡木材使用量／447.6㎡

(うち 豊田市産材258.1㎡)

施主／豊田市

設計／株式会社浦野設計事務所

施工／藤本建設株式会社・三栄工業株式会社

竣工／2013年8月



### 大規模木造保育施設

2020年4月から民間移管した豊田市立寿恵野こども園は、2012年に定めた「豊田市公共建築物等の木材利用の促進に関する基本方針」による初の大規模木造建築物であり、木材の利用を図りつつ鉄骨造と同様の耐震性能を確保している。

柱・梁の構造部分を石膏ボードで覆うことでコストを抑えながら耐火性能を維持し、一部遊戯室の小屋組みでは燃えしろ設計により木材の見える化を実現している。





## 新城市役所

新城市字東入船115

構造／鉄骨造4階建て（免震構造、耐火建築物）塔屋1階

建築面積／1,947.91㎡

延床面積／6,776.19㎡

木材利用量／24㎡

施主／新城市

施工／鹿島建設株式会社 中部支店

開庁／2018年5月

### 『市民まち未来』が見える 新城型庁舎

木製の受水槽と1階外装の木製ルーバーが目を引くデザインとなっている。

内外装にも新城市産木材を利用しており、目にも気持ちにも優しい空間となっている。



杉板壁の会議室





あいち木づかい表彰受賞施設

## 新城市立作手小学校・ つくで交流館

新城市作手高里字縄手上32

構造／木造、木造一部鉄筋コンクリート造・  
鉄骨造平屋建て

延床面積／4,366.46㎡

竣工／2017年3月

木材使用量／597㎡

（うちあいち認証材〈新城市産〉580㎡）

施主／新城市

設計／株式会社東畑建築事務所 名古屋事務所

施工／波多野・三河建設工事共同企業体

第25回愛知まちなみ建築賞

第2回あいち木づかい表彰（特別賞）

第13回木の建築賞（選考委員特別賞）

日本建築学会作品選集（2019年）入選

第18回公共建築賞（優秀賞）



CLTの屋根で作られた正門



丸みのあるプリン風フォルムが目  
を引く食堂

### 木の香り学び合い・育ち合う共育の場

中庭を介して、小学校と地域交流施設が自然につながる施設。柱や構造躯体をあえて見せた空間には、新城市産の木材がふんだんに使われている。また、地域と児童が日常的に交流できる環境を備えている。

地域材を無理なく調達できる構造計画とすることで、将来的な維持管理にも配慮している。





## 新城市役所 作手支所

新城市作手高里字縄手上60

構造／木造平屋建

建築面積／790.79㎡

延床面積／911.47㎡

木材使用量／110.70㎡

(うち あいち認証材 84.35㎡)

施主／新城市

設計／株式会社東畑建築事務所 名古屋事務所

施工／株式会社筒井工務店

竣工／2015年6月

### 市有林の木材を活用した庁舎整備

標高530mに位置する作手地区の木造庁舎は、地元産材の有効利用を図るため、市有林の木材を先行発注し、ふんだんに使用した点が大きな特徴となっている。

耐力壁には筋交いと構造用合板の他、採光や風通、デザイン効果に配慮した「ラチス耐力壁」を構造区間ごとに配置することで、機能的かつ木の温もりに包まれた空間を形成している。



事務室



ラチス耐力壁





つげがわ

## 新城市立黄柳川小学校

新城市下吉田字五反田187番地1

構造／校舎棟：木造 一部鉄筋コンクリート造  
2階建て

延床面積／3,125.97㎡

竣工／2013年1月

木材使用量／1,593㎡

(全て愛知県産木材・うち新城市産材90%)

施主／新城市

設計／株式会社東畑建築事務所 名古屋事務所

施工／校舎棟：三河建設工業株式会社、屋内

運動場棟：松井建拓株式会社

2014年度木材利用優良施設表彰農林水産大臣賞



校舎廊下

### 地域の風景と調和した木造校舎

周辺の山並みや家並みに合わせた切妻屋根と、地域材を使った下見張りの木壁が地域になじむよう工夫されている。

構造や内装には、地元の新城市産のスギとヒノキを使用している。深い軒や腰屋根等による温熱環境を確保している。



校門



屋内運動場





木の香る都市づくり事業

## 設楽山荘

※ 2025年閉業

北設楽郡設楽町  
西納庫字井ノ口9-15

構造／木造2階建て  
延床面積／104.54㎡  
竣工／2021年2月  
内装木質化面積／25.67㎡（浴室）  
木材使用量／1.47㎡（あいち認証材）  
使用樹種／ヒノキ  
施主／設楽山荘  
設計／有限会社エルシー・エス設計  
施工／松井建築

2020年度木の香る都市づくり事業活用施設



## ヒノキ風呂と囲炉裏のある古民家風旅館

夏でも涼しい名倉地区の別荘地に位置する古民家を移築した趣ある宿。宿自慢の貸し切り風呂の内装を地元設楽町産のヒノキをふんだんに使用してリニューアルした。

新しいヒノキ浴槽とともに、木の香りに包まれる癒やしの空間になっている。ヒノキ板は赤身（心材）が多いものを使用し耐久性に配慮している。



あいちの木材利用施設事例集





木の香る都市づくり事業

コハコパーク

# COHAKO Park

北設楽郡設楽町川向モロダ1-1

構造／木造平屋建て

延床面積／82㎡

竣工／2020年3月

木材使用量／28.7㎡（あいち認証材）

施主・設計／株式会社イオリススペース

施工／松井建築株式会社

2019年度木の香る都市づくり事業活用施設

## オール設楽町産の木材を使用した 移動式住宅

居住用の平屋棟とロフト棟、入浴や手洗い等専用の水回り棟などの展示施設に管理棟を加え、全5棟を建設した。各棟を広いウッドデッキでつなげ、来場者がくつろげる、オシャレで居心地のいい空間に仕上げた。

COHAKO Parkでは、全て設楽町産の木材を使用した移動式住宅（COHAKO）の展示・宿泊体験とともに、木育などイベント開催を通じて、木を使用したものづくりの魅力を伝えている。





## 設楽町立名倉保育園

北設楽郡設楽町東納庫字丸根2

構造／木造平屋建て

延床面積／380.78㎡

竣工／2016年3月

木材使用量／112.07㎡

(うち あいち認証材 96.47㎡)

施主／設楽町

設計／株式会社伊藤建築設計事務所

施工／株式会社太平建設

第2回あいち木づかい表彰 優秀賞



あいち木づかい表彰受賞施設

### 設楽町産木材を活かした園舎

「あんしん」「すこやか」「みまもる」の3つのキーワードを軸として、地元の設楽町産木材をふんだんに使用した、木の温かみと開放感のある保育園。

屋根勾配を活かした木の架構をそのまま見せることで、開放感ある空間が特徴となっている。





## 設楽町役場庁舎

北設楽郡設楽町田口字辻前14

構造／木造一部鉄骨造平屋建て（一部2階建て）  
延床面積／2,917.64㎡（役場棟、議場・図書館棟、子どもセンター棟）  
竣工／2013年10月  
木材使用量／735㎡（設楽町産材）  
樹種／スギ、ヒノキ  
施主／設楽町  
設計／株式会社伊藤建築設計事務所  
施工／吉川・太平特定建設工事共同企業体

### 設楽町産の木材を使用した木造平屋建て・バリアフリーの庁舎

旧設楽町と旧津具村の合併後に策定した「設楽町総合計画」に基づき建設された。主構造の集成材の柱と梁に加え、内装材にも設楽町産のスギ・ヒノキを使用している。循環型社会の実現に向け、役場棟には木質チップボイラーを導入している。



役場棟執務室は集成材梁による大空間



木質舗装材が敷かれたキャノピー下の空間





あいち木づかい表彰受賞

次世代林業基盤づくり事業

## 東栄町立とうえい保育園

東栄町大字本郷字上前畑25

構造／木造平屋建て 延床面積／838.34㎡

竣工／2019年3月

木材使用量／241.9㎡

(うちあいち認証材201.6㎡)

施主／東栄町

設計／株式会社黒川建築事務所

施工／村雲・田中特定建設工事共同企業体

2018年度次世代林業基盤づくり事業活用施設

第4回あいち木づかい表彰 優秀賞

## 木育を通じて地域の木に親しみながら楽しく遊べる保育園

地元産のスギ、ヒノキを構造材等に使用するとともに、一部に広葉樹材を使用した内装を取り入れている。また、床材にも地元産スギの圧密加工材を使用している。

登り梁は、一般流通材の120×120角材を使った重ね梁とし、十分な梁せいを確保するとともに、断面に透かしを入れて軽量化を図った。また、小断面材を有効に使うことで、乾燥材の調達の迅速化と建築コストの抑制につなげている。



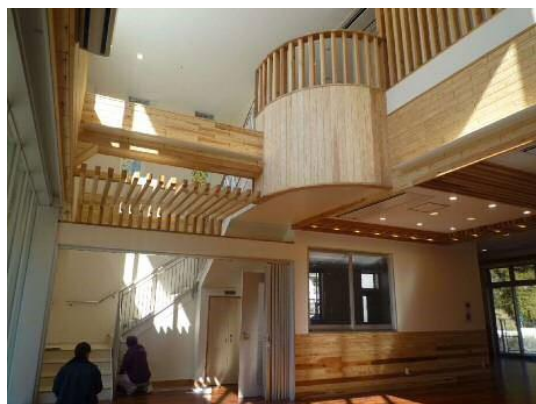


# 道の駅 豊根グリーンポート宮嶋

みやじま

北設楽郡豊根村坂宇場字宮ノ嶋29-3

構造／鉄骨造2階建て  
延床面積／492.1㎡  
竣工／2015年3月  
木材使用量／20.36㎡（あいち認証材）  
施主／豊根村  
設計／柿田設計  
施工／松井・伸和建设共同企業体



1階・2階吹抜け部分

## 内装に豊根村産木材を使用

清流・坂宇場川を望むことができ、豊根村の四季の移ろいをよく感じられる開放的な道の駅。

ルーバーや腰壁、外構など利用者の目に触れやすい箇所にはあいち認証材を取り入れている。内装には、つみき板をはじめとした豊根村スギの間伐材をふんだんに使用している。また、駐車場周りの柵や広場のベンチにもヒノキの間伐材を使用している。



1階（飲食スペース）





## 東田なかよし児童育成 クラブ

豊橋市東郷町13-1

構造／鉄骨造2階建て

延床面積／161.044㎡

納品／2021年2月

木製備品導入／ロッカー4台、本棚1台

木材使用量／1.4㎡

(うち あいち認証材1.33㎡)

樹種／スギ

施主／東田なかよし児童育成クラブ

木製備品製造／株式会社荒木工務店

2020年度木の香る都市づくり事業活用施設



### 放課後児童クラブに木製備品を導入

以前は、プラスチック製のロッカーを使用していたが、子供達に木材への親しみや木材利用への理解を深めてもらうことを目的に、木製備品を導入した。

あいち認証材を使用した木製備品は、スギを集成材として使用することで、反りや曲がりに強く、安定した仕様となっている。



あいち認証材を使用した棚





## 生活介護事業所

# みゆ 実結の森

豊橋市西幸町字浜池15-2

構造／木造平屋建て  
延床面積／157.88㎡  
竣工／2016年3月  
木材使用量／35㎡

(うち あいち認証材 23㎡)

施主／特定非営利活動法人来夢  
設計／有限会社MOK Structural Design Unit  
施工株式会社戸田工務店

2015年度森林整備加速化・林業再生事業活用施設

森林整備加速化・林業再生事業

### J パネル\*を約12㎡使用

Jパネルを166枚(約12m<sup>3</sup>)使用した社会福祉施設。

木材をふんだんに使った室内には、暖かく柔らかな日差しが降り注ぎ、自然に包まれたような心地よい空間となっている。また、定期的に地域交流会を開催し、木材の活用が森林整備の促進につながることをPRしている。

\* 国産の杉材を三層交差積層で接着することによって生まれた36mm厚のパネル



J パネル施工状況



内観





## コワーキングスペース

トコトコ

## TOCOTOCO

豊川市諏訪西町1-138

構造／木造2階建て（改修）

延床面積／145.74㎡

内装木質化面積／29.93㎡（床、壁、カウンター等）

竣工／2019年11月

木材使用量／1.14㎡

（うち あいち認証材 1.07㎡）

樹種／スギ・ヒノキ・モミ

施主・設計・施工／株式会社イトコー

木材納品／株式会社杉生

2019年度木の香る都市づくり事業活用施設



木の香る都市づくり事業

### 古家をリノベーションして建てられた 集いの場

「ヒト×トコ（所・場）が育てる可能性」をコンセプトに、目標に向かって走り始める人の後押しの場として、築52年の空き家を改修した。

床や腰板にはスギ、椅子にはヒノキ、テーブルとカウンターにはモミを使用することで、もともとの梁などの構造材との統一感が生まれ、狭さを感じさせない広がりのある空間となっている。



あいちの木材利用施設事例集





森林整備加速化・林業再生事業

## 田原市立稲場保育園

田原市加治町稲場150-1

構造／木造平屋建て

延床面積／1,399㎡

竣工／2015年3月

木材使用量／204㎡

(うちあいち認証材 スギ198㎡、ヒノキ6㎡)

施主／田原市

設計／株式会社アーチザン

施工／株式会社菰田建設

2014年度森林整備加速化・林業再生事業活用施設

### 木の香りあふれる大規模の保育園

遊戯室として使用するホールには、安全面と耐久性に配慮して接合金物工法で施工している。大断面の集成梁や無節のスギの腰壁が目に触れるようになっていて、様々な木の使い方や木の良さが伝わる空間となっている。

柱や梁・桁だけでなく、引き戸や額縁等の建具にもあいち認証材のスギを使用しており、見て触って木の良さを直に感じることができる。



大断面の集成梁





# 田原市立大草小学校 相撲場

田原市大草町東畑43-2

構造／木造

延床面積／43.56㎡

竣工／2014年3月

木材使用量／8㎡（あいち認証材）

施主／田原市

設計／株式会社愛河調査設計

施工／金田建設株式会社

2013年度森林整備加速化・林業再生事業活用施設

森林整備加速化・林業再生事業

## 田原市内の小学校で現存する唯一の相撲場

大草小学校では昭和55年から相撲大会が開催されており、長い歴史を有する相撲文化が受け継がれてきた学校である。この伝統のもと、校庭の相撲場が改装された。

柱・梁・天井板などに、新城市産のヒノキが約8㎡使用している。

